

登寿ホールディングスが清掃活動 参道や境内のごみ一掃

総勢210人参加 安全祈願も

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとする登寿ホールディングスは九日、帯廣神社と十勝護国神社で清掃活動を行った。役員総勢約二百十人が参加し、日ごろからお世話になっている地域への恩返しを気持ち込めて、枯れ葉や落ち葉などを丁寧に拾い集めた。

この日、宮坂建設工業、（株）平田建設、（株）松本組、寿ホームエージェンシー、（株）登寿など役員二百十人が参加した。作業を開始する前に全員が集合し、有川進副社長があいさつ。「今回で二十一回目を迎える。函館の松本組なども参加し、ことは昨年よりも五十人多く参加している。こういった



活動を引き続き、行い、地域に貢献していきたい」と呼びかけた。

このあと、三グループに分かれて参道や境内を清掃し写真。とんとん焼きで出た大量の灰のごみや枯れ葉、枝など協力しながら回収に当たった。

清掃活動後には安全祈願祭を行い、全員が一丸となって、無事故・無災害達成を誓い合った。

◆宮坂建設工業グループ（帯広市、宮坂寿文社長）の清掃奉仕
9日、帯廣神社と十勝護国神社境内で行った。同社グループ（登寿ホールディングス）の地域貢献活動として1995年に始まった。今回はグループ従業員365人のうち、役員210人が参加した。



「帯広・十勝の地域の皆さんに支えられているの感謝の気持ちで、心を込めて清掃した」と話した。

とん焼きで出た灰をスコップで片付けたり、境内に落ちた枝やごみ、あずまの屋根に積もった落ち葉などを拾った写真。終了後、本格的な工事シーズンに向け境内で安全祈願を行った。

同社の有川進副社長は

感謝を込めて 神社清掃奉仕

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業

（本社・帯広、宮坂寿文社長）は9日、帯廣神社と十勝護国神社で清掃奉仕活動をした写真。

1995年から取り組んでいる地域貢献活動で、今回で21回目。松本組や平田建設、登寿ホールディングスのダスキン事業部といったグループ企業から計210人が参加した。

有川進副社長は「この帯広・十勝の人たちに支えられてわれわれは仕事ができる。感謝の気持ちを忘れず、心を込めて清掃してほしい」と呼



び掛けた。参加者は、境内の枯れ枝を拾い集めたり、とんとん焼きで生じた灰を集めたりした。

終了後は帯廣神社で安全祈願祭を開き、玉串をささげて無事故無災害を誓った。